

原点回帰、そしてさらなる進化を

明日を想う
健祥会グループ

健祥会だより 2020

KENSHOKAI DAYORI vol.45



原点回帰、そしてさらなる進化を

～設立の理念と行動指針を胸に～

創立40周年を迎えて

ひとつの特別養護老人ホームからスタートした健祥会グループ。現場のニーズに応えるために規制と闘い、規制の壁の一つひとつを實踐で乗り越えながら、時代に先駆ける新しいサービスや価値を生みだしてきました。地域に支えられ、地域に根ざしながら、今年、創立40周年を迎えます。

昭和から平成へ、そして令和へ、時代とともに社会も大きく変化しています。令和という新しい時代へ、変わりゆくことへの期待の現れか、徳島県では若い市長が相次いで誕生しました。一方で、

異常気象が思いがけない被害を引き起こし、医療福祉の現場では不祥事が後を絶ちません。幸い健祥会グループでは役職員の頑張りにより、一年を大過なく過ごすことができましたが、今後、様々な危機管理

理体制をさらに強固なものにしていかねばと考えているところです。

効率化と

高品質サービスの両輪で

全世代型社会保障を掲げて消費税増税が実行され、幼児教育・保育の無償化もスタートしました。高齢化のピークに向かって社会保

障制度を持続可能な制度とするためには、診療報酬も介護報酬も改定ごとに厳しさを増すと思われ

ます。2022年の介護保険制度改正に向けて、低所得者の負担増も議論されており、給付の抑制圧力も高まっています。

限られた財源の中で、効率化を図りつつ、高品質サービスを提供することが私たちの使命。生産性向上をめざして、本部機能のシステム化・スリム化をすすめるとともに、介護現場ではICTやロボットの導入により職員の負担軽減を図っています。本年はこれをさらに加速させ、いっそうダイナミックな改革に取り組んでまいります。

地域と時代に求められるサービスを

人口減少が加速し続け、福祉業界での人材確保は困難を極めています。また過疎の山間部ではすでに高齢化がピークを超え、利用者も減少傾向にあるという厳しい現状です。しかし、困難を前に手をこまぬいているのではなく、そこにニーズがある限り挑戦あるのみ。昨年、那賀町に安心の高品質サービスを継続してお届けするために、町の補助もいただき、念願の職員寮「緑風会サミット」が完成しました。また、介護老人保健施設「健祥会ウエル」では訪問リハビリを、同じく「センターヴィレッジ」でも通所リハビリをスタート。本年4月には、小松島市のケアハウス健祥会アムスに併設して、小規模多機能ホーム「健祥会テルダム」を開設し、地域の安心をしっかりと担ってまいります。

利用者様のために、人財がすべて

人手不足を補うために、外国人労働者の受け入れ拡大が図られており、介護分野では4つの在留資格での就労が可能となりました。



健祥会グループ 理事長 中村 太一

健祥会グループでは、創始者中村博彦の強い意思で実現したEPAによる介護・看護人材交流において、制度スタートの2008年からアジアの人財を積極的に受け入れています。現在、インドネシア、フィリピン、ベトナムの人財が226名在籍するとともに、介護福祉士国家資格取得者も多数輩出し、頼もしい戦力となっています。EPA人財だけでなく、ベトナムからは技能実習生を迎え、フィリピンのEPA人財は介護分野で初の特定技能を取得。

12年前から培ってきた教育と共生のノウハウに加え、東南アジア各国とのつながりも育ってきました。

私たちの仕事は人の質がすべてです。良い人財に選ばれる職場であるために数年来、ダイバーシティ・ワークライフバランス・健康経営への取り組みを進めており、様々な評価を得ています。

2019年度は新たに、厚生労働大臣の子育てサポート企業「くるみん認定」、経済産業省の「健康経営優良法人ホワイト500」、「日本創生のための将来世代応援知事同盟」による「将来世代応援企業賞」などを受賞。また障害者雇用においても独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「理事

長努力賞」をいただきました。職員一人ひとりのキャリア形成も大切に考え、誰もが活躍できる環境づくりを推進。グループ内外での研修を充実させて、キャリアパスによる未来の見える人財育成を図っています。

原点に拠って立ち、40年のその先へ

理事長として7年目の今年、40年の節目にあたって、来し方を振り返り、行く末を想いました。そして、新しい時代のパイオニアとして、新しい発想で、新しいものを生み出すには、原点に拠って立つことこそ大事であるという想いに至りました。

私たちの原点とは、「福祉は人は心」と定めた会是、「心と心」と謳った理念、そして2014年から掲げる「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」という三つの行動指針です。皆で原点に立ち還り、当たり前のことに眼差しを注ぎ直す一年とするために、行動指針を年訓として表現した平成二十六年訓を令和二年訓として再び掲げます。これらを実践できているのか、役員一人ひとりが常に自らに問いな

がら、その上で、新たな挑戦、さらなる進化を果たしてまいりたいと考えます。

時代とともに、地域とともに：先人たちが「汗と涙」で築いた歴史と、今をお支えくださる皆様方に感謝を捧げつつ、働く人からも利用者様からも選ばれ、地域で喜ばれる事業体であるために、原点を大切に、さらなる進化を果たしてまいります。

令和二年訓

- 一、今、自分が利用者ニーズに
応えられているか
- 一、今、自分が上司・部下・同僚に
応えられているか
- 一、今、自分が地域社会に
応えられているか

明日を想う
健祥会グループ

健祥会だより

2020 VOL.45

- 2 原点回帰、そしてさらなる進化を
～設立の理念と行動指針を胸に～
健祥会グループ 理事長 中村 太一
- 4 TOPICS
- 6 集え人財！採用活動レポート
- 8 「利用者様のため、地域のため、職員のため」
取り組みに嬉しい評価、続々
- 10 KIRARI WOMAN ネットワーク 2019 活動レポート
- 11 グループをあげてサービスの質を追求
～私たちの大切な行動指針に沿って～
32施設が創意工夫を競い合う料理コンテスト開催
毎年毎年嬉しい進化！
「平成30年度年間取組発表会決勝大会」
- 12 支え合いつながり合う
あたたかな地域でありますように
2019年 地域活動報告
- 16 「令和」の時代も、スポーツとともに！地域に元気で生きがいを！
- 18 健祥会グループ フォトコンテスト 2019



02

新ユニフォーム誕生 心は家族のように、環境は自宅のように

職員が楽しい気持ちで仕事ができ、利用者様にも普通のも暮らしの軽やかな気分が届きますようにと願って、介護職員ユニフォームを一新。デニムのような風合いとチェックを組み合わせたシャツに、カジュアルなチノパンになりました。

吸汗性にも伸縮性にも富み、スリットやタックなど細かな配慮で動きやすく、機能的。胸の

ネームホルダーはボタン式でつけ、そのままポケットに収納することもでき、安全で便利です。洗濯機で回せて乾きも早く、職員にも好評です。



01

開所のお知らせ 2020年4月小松島市に 小規模多機能ホーム「健祥会テルダム」開設

小規模多機能ホームは、住み慣れた家・地域での生活を継続することができるよう、利用者様の状態や必要に応じて、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」の3サービスを組み合わせ、ご利用いただける在宅介護サービスです。

小松島市では、デイセンター・チューリップを長年ご利用いた

だいてきましたが、地域のニーズにお応えするために、泊まりや訪問も備えた小規模多機能ホームへの転換を図り、小規模多機能ホーム「健祥会テルダム」として4月1日に開所しました。ご利用については、お気軽にお問い合わせください。

☎0885-321-2215

TOPICS

全国66の事業所で6000人あまりの利用者様と約3000人の職員が織りなす日々の営み。2019年も、笑顔の日常と一所懸命の進化の中にたくさんの方の出来事がありました。ピックアップして紹介します。

2019 1/16(水)



介護分野にも技能実習制度の門戸が開かれ、いよいよ多文化共生国家へと歩みはじめた日本。グループの中で最も多く、15人のEPA人材が就労する特別養護老人ホームエリザベート成城に、根本匠 厚生労働大臣(当時)が視察にお越しくださいました。

日本人と同等以上の待遇、キャリア育成の仕組みなどを評価いただき、「外国人材受け入れのモデル的な取り組みとして、しっかり横展開していくことが大切だ」とのコメント。ご案内した本部長中村晃子は、「精一杯力を尽くしてキャリアアップの道筋の中で日本人と同様に育てていきたい。現場に生きるような制度・施策をよろしく願いたい」と要望申し上げました。

健祥会ウエルで訪問リハ始まる

2019 8/1(木)

隣接する吉野川リハビリセンターの事業を引き継いでも

老人保健施設 健祥会ウエルが、訪問リハビリテーション事業を開始しました。理学療法士や作業療法士などの専門職がご自宅を訪問し、お住まいの環境に合わせた生活動作訓練、身体機能の維持向上のための基礎訓練(筋力強化や関節可動域訓練)を行います。ご自宅での訓練は、利用者様もリラックスして臨めるうえ、提供者にとっても生活の細かいところまで目配りできるといふ利点があります。

05



ので、新規利用も、以前からの利用者様の継続利用も可能です。利用者様ができるだけ自立し、地域の中で安心して生活が送れるよう、施設入所から在宅生活まで切れ目なくしっかりサポートしてまいります。

通所リハビリテーション
ヴィレッジリハビリセンター開所

2019 10/1(火)

美馬市脇町でグループ内の医療法人青嵐会が運営する介護老人保健施設 センターヴィレッジに、地域の皆様希望の通所リハビリテーション「ヴィレッジリハビリセンター」が開所しました。理学療法士(PT)作業療法士(OT)などのリハビリ専門職とともに、利用者様ごとの安全で無理のないプログラムにより、心身の機能回復・維持・向上のための訓練を行います。1日2時間半程度、ジムに通うような感覚で気軽に利用していただき、痛みやしびれの緩和、



転倒予防などをめざしてください。無料体験を受け付けていますので、ぜひお試しください。

歯と口腔の健康づくりへ
阿南市で強力な3者連携スタート

2019 2/14(木)



徳島県の「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」の基本理念のもと、阿南市と一般社団法人徳島県歯科医師会、社会福祉法人健祥会が「口腔管理に関する連携合意書」を

交わしました。ケアハウス 健祥会アンダルシア内に設置された徳島県歯科医師会在宅歯科医療連携室(南部)を拠点として、地域住民の皆さんが安心して口腔管理(歯科治療や口腔ケア)を継続的に受けることができる協力的体制を整備し、地域歯科医療連携ネットワークを築いてまいります。皆様が健康な歯と口腔を保ち、生涯にわたり活き活きと暮らせませよように！

04

那賀町に快適な職員寮
「緑風会サミット」

2019 9/26(木)



特別養護老人ホーム緑風会チロルに、職員寮「緑風会サミット」が完成しました。2階建て、ワンルームの居室が、1階に5室、2階に5室。うち5室はバスタイレ付きです。

各フロアにダイニングキッチンが設えられ、どのスペースにもあたたかで家庭的な内装が施されています。窓の外には那賀町の美しい森と空が広がり、成瀬川の水音が清涼感を運んでくれます。

山間部の施設に職員を確保しようと思えば、寮が必須です。快適な住環境のもとで笑顔になって、利用者様に心豊かな日々を届けられるよう、そんな期待を込めての竣工です。

06

集え人財! 採用活動レポート

2019 4/1(月)

おめでとう! ありがとう!
38名の新入職員を迎えて
健祥会グループ 2019年度 辞令交付式



平成があと1ヶ月で終わりを告げようとする2019年4月1日。新年度のスタートに38名の新入職員を迎え、健祥会グループ辞令交付式が行われました。

理事長 中村太一 訓辞

進化と挑戦を続けるために

健祥会グループは、来年40周年を迎えます。グループ5法人のうち、社会福祉法人健祥会と緑風会は、ガバナンスと財務規律の厳格化、そして地域貢献がより強く求められる特定社会福祉法人として、モデル的な組織づくりをめざしているところです。デイサービス事業を四国ではじめてスタートさせた38年前からこれまでずっと、時代に挑戦し先駆的なサービスをつくってきたように、今後も挑戦を続けたいと思っています。

我々の仕事は時代に必要とされており、また地方においては地域経済のけん引役として重要な役割を担っています。そうしたグループの方向性を認識し、その一員であるという心構えで今日からの仕事に臨んでください。

常に学ぶことを怠らず、情報を持ち、視野を広げ、自分を高めていきましょう。福祉の現場にもAIやロボットの導入が進んでいます。これらをどう使いこなし、サービス向上や働き方改革につなげていくか、皆さんの新しい発想で挑戦してください。

私たちの仕事はAIが取って代わることでできない仕事です。技術や知識も大事ですが、感謝を忘れず、優しさ、人間力を



しっかり磨いてください。

皆さんの新しい感覚を組織に注ぎ込んでくださることを期待します。どうか、今の志とモチベーションを持ち続けて、新しい自分・新しい施設・新しいグループの姿を描いていってください。ともに頑張りましょう。

介護の日に福祉人としての一步を刻む 健祥会グループ 2020年度 職員採用内定式



健祥会グループの未来をともに担う新しい仲間22名を迎え、2020年度採用者の内定式が行われました。11月11日は介護の日。福祉人としての第一歩を記すにふさわしい日として、健祥会グループではこの日を内定式の日としています。

業務執行理事中村晃子より、「今、高齢化率は28・4%、徳島では33・1%、3人にひとり65歳以上の高齢者です。また、少子化とはいえ、生産年齢人口の減少に伴う女性の就労率の高まりにより、保育の需要は年々高まっています。介護も保育も、その話題が新聞を賑わさない日はないほど、身近で重要な国家的課題であり、私たちの役割はとて大きくなっています。課題があるということは、成長の可能性にも満ちているということ。そういう仕事に携わるということへの自覚と誇りを持つてください。来年は健祥会グループ40周年の節目、皆さんとともに仕事ができることを楽しみにしています。」と激励の言葉が贈られました。



健祥会はダイバーシティあふれる 大きなファミリー

インドネシア、フィリピン、ベトナムから 今年も介護福祉士候補者を迎えて

2019年度、健祥会グループに迎えたEPA（経済連携協定）による介護福祉士候補者は全部で42名。8月、ベトナムから第6期生6名、12月にはインドネシア12期生22名とフィリピンからの11期生14名です。これで、インドネシア115名、フィリピン64名、ベトナム47名、合わせて226名になりました。

健祥会グループは日本中でもっとも多くEPA人材が集うグローバル職場であり、彼らはいまやなくてはならない頼もしい戦力となっています。

はじめての受け入れから12年、この間、介護職のグローバル化はすすみ、在留資格に「介護」が加わり、技能実習制度もスタートしました。EPA人材に加え、ベトナムからの技能実習生を4名迎えるとともに、フィリピンの人材が介護分野で初の「特定技能1号」を取得しました。

健祥会グループでは、外国人財受け入れの先駆者として、長年蓄積した教育と共生のノウハウで、日本人にとっても外国人にとっても働きやすいグローバル職場をさらに進化させてまいります。

健祥会でもっと、ずっと働きたい！ インドネシアからの1期生が永住権を取得

2009年1月から健祥会グループで就労するEPA介護士1期生のインドネシア人ワヒューディン（特別養護老人ホーム水明荘）が、「健祥会でずっと働きたい。福祉はもちろん、教育や文化などの知識ももっと習得したい」と、滞在期間に制限のない永住権を取得しました。申請には日本人もしくは、永住権を持つ外国人の身元保証人が必要であり、グループの介護福祉士国家試験対策の指導責任者が保証人となったものです。また、特別養護老人ホーム健祥会エンリケでは3人のフィリピン人介護福祉士が日本国籍を取得。他にも、手続中の希望者もおり、人事部ではしっかりとサポートしていく考えです。

「利用者様のため、地域のため、職員のため」 取り組みに嬉しい評価、続々

よい人財に選ばれる職場であるために、ワークライフバランスの実現や健康経営への取り組みを進め、様々な評価を得るとともに、社会福祉法人としての使命をまっとうするために地域貢献にも努めています。

2019年、あらたに6つの賞をいただきました。

「未来を守る防災活動賞」 徳島県知事表彰受賞

2019 1/20(日)



想定外の自然災害に見舞われることが多くなり、防災の大切さ、とりわけ、地域での自助・共助の必要が痛感されるこの頃。健祥会グループでは、グループ内にDCAT(災害派遣福祉チーム)を組織するとともに、13のステージがそれぞれ地域の自主防災団や消防、行政と連携して、防災訓練、避難訓練、福祉避難所設置訓練、炊き出し訓練などを実施。地域への啓蒙活動や連携づくりなどにも取り組んでいます。

「徳島県自主防災組織交流大会」で、健祥会本部長 中村晃子が飯泉嘉門徳島県知事よりの表彰状をいただきました。今後も、施設内の防災対策、利用者様の安全確保はもちろん、日頃から顔の見える地域づくりに取り組み、地域の防災拠点としてさらに活動に力を入れています。各地域の皆様にはご協力よろしくお願ひ申し上げます。

こうしたグループあがりの活動に対して、平成30年度「未来を守る防災活動賞」徳島県知事表彰をいただくこととなり、徳島県板野郡北島町の徳島県立防災センターで開催された



子育てサポート企業として 厚生労働大臣より「くるみん認定」!

2019 3/27(水)

子どもたちが健やかに生まれ育つ環境をつくるために「次世代育成対策推進法」が定められ、企業には仕事と子育てに関する「一般事業主行動計画」の策定が義務付けられています。

健祥会グループでも、社会福祉法人健祥会が2015年4月1日より2018年3月31日の3ヶ年にわたる行動計画を策定し、●妊娠中の女性職員の健康管理への取り組み ●産前産後休業や育児休業、育児休業給付、育児休業中の社会保険料免除などの制度の周知や情報提供 ●年次有給休暇の取得日数の目標達成 ●ノー残業デーの設定・実施による所定外労働の削減などを進めています。

減などを実現。計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定「くるみん認定」をいただきました。女性も男性も、すべての職員が子どもを生み育てることに喜びを感じながら、仕事にも意欲を持って取り組んでいけるよう、より高い水準の「プラチナくるみん認定」をめざして、子育て支援策をさらに前へと進めています。

健康経営に取り組む優良法人の「見える化」 「健康経営優良法人2019ホワイト500」に!

2019 2/21(木)

健祥会グループでは、これまでずっと取り組んできた職員の健康づくりをさらにパワーアップ。健康診断100%受診、全事業所ストレスチェック実施、人間ドック及び疾病・腰痛予防検診の費用助成と対策などに取り組んでいます。こうした取り組みが評価され、経済産業省が優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人認定制度」において、健祥会グループ4社会福祉法人が「健康経営優良法人2019」に選ばれました。認定制度3回目となる今回、在京大企業が名を連ねる中、大規模法人部門821社に選ばれたものです。職員の健康と組織の健全性に細やかに配慮し、働く人にも地域社会にも喜ばれる組織めざしてさらに努力いたします。



「日本創生のための将来世代応援知事同盟」 より「将来世代応援企業賞」受賞!

2019 6/11(火)



「将来世代」が地方において安心して結婚・出産・子育てのできる社会の実現をめざし、施策の検討や、国への提言、共同事業を行う「日本創生のための将来世代応援知事同盟」より、社会福祉法人健祥会が「将来世代応援企業賞」をいただきました。柔軟で多様な人事制度の整備へ(育児・介護を応援する職場の充実)へKIRARIWOMANネットワークの活動へ(健康経営への取り組み)へ(グローバル人材へのサポート)へ(明かなキャリアパスの提示)などの実践と成果が評価されての受賞です。

6月1日に開催された「サミットinしが」で発表。6月11日、飯泉嘉門徳島県知事より、授与されました。組織内においても、様々な取り組みが、退職者減や職員のやる気と職場の活気の醸成につながっているという手応えを感じています。人あってこそこの介護・医療・保育です。職員本位のスタンスで、ワークライフバランスの取れた働きやすい職場づくりをさらにすすめてまいります。

4法人が揃って 「健康経営」ダイヤモンド事業所に認定!

2019 6/28(金)



徳島商工会議所が創設したMS認定制度において、健祥会グループの社会福祉法人健祥会・緑風会、育英福祉会、青風会、4法人が揃って、最高ランクであるダイヤモンド認定をいただきました。

MS認定制度は、やる気(Motivation)と笑顔(Smile)に満ち溢れた活気ある地域づくりをめざし、従業員の健康増進に努める事業所を「健康経営」事業所として認定するもので、全国的にも注目を集める取り組みです。

徳島商工会議所が創設したMS認定制度において、健祥会グループの社会福祉法人健祥会・緑風会、育英福祉会、青風会、4法人が揃って、最高ランクであるダイヤモンド認定をいただきました。

● 全国健康保険組合の健康経営宣言へのエントリーと評価
● 毎年度従業員の健康診断を100%実施 ● 事業所内禁煙 ● 産業医の選任 ● ストレスチェックの実施など、8項目の要件をすべて満たした場合に与えられます。

職員はやる気(motivation)と笑顔(smile)をめざして、さらに健康経営に力を入れてまいります。

社会福祉法人緑風会の取り組みに評価 障がい者雇用で努力賞!

2019 9/11(水)



健祥会グループの社会福祉法人緑風会が、障害者雇用の実績により、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞を受賞しました。健祥会グループでは、年齢、性別、国籍、障がいに関わらず、すべての人々がいきがいをもって働ける職場環境をめざしており、障がい者雇用に関しても、グループ内法人はすべて法定雇用率を達成しています。特に緑風会では、18名の障がい者を雇用(法定雇用義務2.2%のところ2.61%)、2名を管理職に登用、障がい者職業生活相談員を配置、きめ細かな業務調整、使用しやすい用具の検討と購入、職場環境の見直し・改善の随時実施など、数字だけでなく、様々な取り組みが評価されての嬉しい受賞です。

KIRARI WOMAN ネットワーク 2019 活動レポート

KIRARI WOMAN ネットワークは、仕事のキャリアばかりでなく人としての成長も大切に、育ち合い高め合うことをめざし、グループの女性職員をゆるやかにネットワークしてはじまった活動です。今では男性もメンバーに加わり、様々な学びやコミュニケーションの機会を楽しんでいます。2019年の活動は……。



お父さん、とっても真剣なお顔です



知ってほしい! 見てほしい! お仕事参観日「家族deわくわくWork」

夏休み企画として、職員の家族に向けたお仕事参観日「家族deわくわくWork」を13施設で開催。たくさんのご家族が参加してくれました。子どもたちは、用意された名刺を交換して挨拶を交わし、「福祉」の仕事について話を聴きました。「福祉」とは皆を幸せにする尊い仕事との言葉に、目が輝きます。親御さんやパートナーも熱心に仕事の様子をご覧くださいました。高齢者施設では福祉用具体験や、利用者様との会話や配膳のサポートを通して、仕事の大変さと楽しさを実感しました。認定こども園では、絵本の読み聞かせに挑戦! 園児も大喜びでした。

参観や体験を終えての感想や感謝の気持ちを、「Thanks Card」にして家族にプレゼント。職員たちはカードを見てますます仕事へのやる気が高まったのではないのでしょうか。お仕事を頑張ってくれた子どもたち、参加くださったご家族に、「修了証書」が手渡されました。この体験を通して、福祉を身近に感じ、福祉の仕事に興味を持ってくれると嬉しいです。



いっしょに折り紙、「ム、難しい〜〜〜」



おばあちゃん、お昼をどうぞ召し上げれ



「いつもお仕事頑張ってくれてありがとう」



美文字教室



私の家族です、
よろしく願います



KIRARI★セミナー

令和の時代にふさわしく 和の心でブラッシュアップを!

「令しく平和な日本」を願ってスタートした令和の時代。KIRARI WOMEN ネットワークでは、「和」にちなんだ教室を企画。施設職員を講師に、「浴衣着付け教室」「美文字教室」「茶道教室」を開催しました。素敵な和美人がたくさんできあがった「浴衣着付け教室」。「美文字教室」「茶道教室」では、静謐のひとときに心が満たされるかのようでした。これを機会に日本文化のよさを再確認しもっと「和」を楽しんでほしいものです。



浴衣着付け教室



茶道教室



グループをあげてサービスの質を追求

私たちの大切な行動指針に沿って

32施設が創意工夫を競い合う 料理コンテスト開催

厨房職員の技術の向上を図るとともに、厨房職以外の様々な職種の職員も食に対する認識を高め、共有するために、グループ全体で、またステージ毎に料理コンテストが開催されます。今年も、徳島・高知・香川県内の32施設が、あらかじめ定められたテーマ、定められた材料費の中で、美味しく、美しく、安全にと、創意工夫した料理を持ち寄って開催されました。

を聞いたり、厨房職員同士がアドバイスしあったりして、気づきや刺激を得られたようです。

（テーマ）

- ① 統一献立
（赤飯・煮しめ・お浸し・お汁）
- ② 便秘予防・改善献立
- ③ 免疫力アップ献立
- ④ 鶏むね肉をつかった洋食献立

利用者様のQOLのために栄養管理は非常に重要であり、食の質の追求は永遠のテーマです。今後もグループをあげて、利用者様の喜びと身体機能の維持向上につながるような、質の高い食事の提供に努めてまいります。



2019 3/12(火)

毎年毎年嬉しい進化！ 「平成30年度年間取組発表会決勝大会」

44施設が参加して行われる毎年恒例の年間取組発表会。平成30年度の統一テーマは、「5つのゼロと4つの自立支援」データ分析から利用者様の笑顔に「です。種別ごと地区ごとに5会場で行われた予選を経て、勝ち残った8施設が健祥会トウモロホールに集い、「平成30年度年間取組発表会決勝大会」が開催されました。今年は、スペシャルゲストとして、業界紙シルバー新報・月刊ケアマネジメントの川名佐貴子編集長も取材にお越し下さいました（シルバー新報 3月15日に掲載）。

テーマ通り、どの施設もしっかりとしたデータ分析に基づいて取り組んでおり、興味深い内容ばかり。一昨年よりも昨年、昨年よりも今年、すばらしい進化を感じさせてくれました。プレゼンテーションそのものにもレベルアップが感じられました。仲間による応援合戦も微笑ましく、施設職員の仲の良さや熱意が伝わってくるのでした。

「発表と表彰が目的ではない。取り組み事例を進化させるとともに、一施設の事例で終わらせるのではなく、標準化をめざしてグループ全体でレベルアップを図っていくことが重要」と理事長中村太一の総評の言葉。次年度は、「その人らしさを支えるチームアプローチ」適切なアクセスメントと目標設定」というテーマで取り組みます。

- 優勝 ●特別養護老人ホーム 緑風会イサベル
「笑顔の花を咲かせましょ！生涯安心を目指して」
- 2位 ●老人保健施設 健祥会ハート
「地域に選ばれる老健を目指して
～多職種協働のチームワークこそハートの強み～」
- 3位 ●老人保健施設 健祥会ウエル
「在宅復帰に向けての自立支援」
●介護老人福祉施設 ふるさと那賀
「科学的介護で母への想いをかたちに
～胃ろうゼロへの取り組み～」
- 【ポスター部門賞】
- 優勝 ●特別養護老人ホーム 緑風会イサベル
- 2位 ●特別養護老人ホーム 健祥会ライデン
- グループホーム 元気



ロボットとともに介護も進化！ 利用者様にも介護職にも優しい介護

団塊の世代（1947～49年生まれ）が75歳を迎える2025年。現在1748万人の75歳以上人口は、その頃には約2200万人。全人口の「4人に1人が75歳以上」という超高齢社会となり、介護業界は、「介護需要のさらなる増加」とそれに伴う慢性的な介護職員不足」に向き合うこととなります。そんな明日を支えるために、健祥会の介護現場でも介護の質のアップと介護職員の負担軽減のために、ITの活用やロボットの導入がすすまられています。要介護者自身が装着することで残存能力が強化され、運動能力を取り戻せる機器も順次開発されており、今後導入を検討していきたいと考えています。

職員の負担軽減・業務の効率化のために

- ・移乗補助ロボット
- ・ロボヘルパーSASUKE
- ・マッスルスーツ



マッスルスーツ

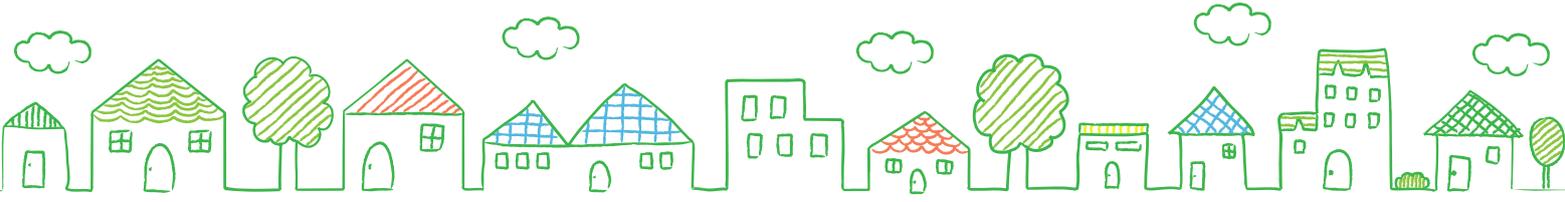
- ・見守り支援デバイス
- ・眠りスキャン・DFree

利用者のQOL改善のために

- ・歩行訓練機器
- ・HONDA 歩行アシスト
- ・コミュニケーション支援
- ・コミュニケーションロボット
- ・バルロ

支え合いつながり合う あたたかな地域でありますように

健祥会グループではステージごとに施設が連携・協働し、
地域の元気と安心のために様々な地域貢献活動を実践しています。



2019 3/7 (木)

「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録をめざし、札所への道しるべとなる「石柱」設置活動をすすめる徳島商工会議所女性会よりの依頼を受け、阿波市土成町のグループホーム義満に「石柱」が設置されました。

3月7日、除幕式で理事長中村太一は、「地域へのご恩返しのもりで依頼を喜んでお受けしました。『四国八十八箇所霊場と遍路道』の世界遺産登録が叶えば、南海トラフ巨大地震の発生が心配される中、災害時の救助活動にも、また避難場所としても重要な役割を担う四国8の字ネットワークの整備にも弾みがつくと思います。誰もが安心

して住み続けられる地域でありますよう施設サービスのみならず、できることにしっかり取り組んでまいります」と挨拶しました。

県内で6箇所目となる「石柱」には、阿波市土成町の第9番札所法輪寺と市場町の第10番札所切幡寺の方向と距離が刻まれています。石柱建立に合わせて、グループホーム義満の野立て看板も設置。県道12号線沿いのとても目に付く場所ですから、お遍路さんの目にしつかり飛び込んで、道行きの安心を届けてくれることでしょう。



2019 2/5 (火)

お遍路さんの道行きに「安心」を！ グループホーム義満に「石柱」設置

認知症への理解促進を図るため、健祥会グループが2014年から施設内外で実施する「認知症サポーター」養成講座。グループ全体で、2019年12月末までに、合計15522名のサポーターを養成しており、講師派遣による養成数も合計5781名にのぼります。

徳島県は講師として多くのサポーターを養成した「優秀キャラバン・メイト」の表彰と一定人数のサポーターを擁する事業所の登録を実施しており、平成30年度、健祥会グループからは、1名がシルバー（1年間に500名以上

養成、5名がブロンズ（1年間に200名以上養成キャラバン・メイトとして表彰。3施設があらたに「ゴールド事業所」講師を務めることのできるキャラバン・メイトが在籍し独自の講座を実施している事業所）に、2施設が「シルバー事業所」(サポーターが30人以上いる事業所)に登録されました。

認知症は誰もが当事者になりうる病気です。正しく理解し、理解を深めることで、みんなで支え合い、認知症になつても安心して暮らせる地域でありますように、引き続き、講座開催をすすめ、理解促進に努めてまいります。



今年もあらたに「優秀キャラバン・メイト」誕生



2019 3/16(土) 17(日)



46都道府県と海外16カ国から過去最多の14589人がエントリー、12795人が出場したとくしまマラソン2019。県民あげての「おもてなし」により、多くの人から愛される大会へと成長し、はや12回を数えます。徳島の春の風物詩となったこの大会に、健康会グループ職員有志がボランティアとして参加しました。

イベント「ファンラン」では公園内給水所を担当。17日当日は、17km付近六条大橋北詰の第4給水所で様々な職場から集まった約100名の職員が、塩と水、スポーツドリンクのサービスを担当。あいにくの雨の中、一心に走るランナーの皆さんを精一杯応援しました。地域への感謝の気持ちと、徳島を盛り上げたいとの想いで、サポートをはじめ、今回で5年目。毎回職員たちは、応援しながら元気や感動をいただいています。



雨にも負けず、今年も感動をありがとう！
とくしまマラソン 2019

2019 7/5(金)～



健康会グループの施設と地域の皆様を結ぶ大切な行事「夏まつり・納涼祭」が、徳島、香川、高知、大阪、京都、東京の高齢者施設と、認定こども園・保育園で、今年も賑やかに開催されました。ご参加の皆様への負担にならないよう、施設ごとに内容や時間帯に配慮し、猛暑の頃を避けて10月に秋まつりとして実施した施設もあります。ボランティアの皆様、園児の保護者の皆様、地域の高校生・大学生の皆様、そして、専門学校健康会学園の学生の皆様など、様々な方々にお手伝いいただいておりますことに感謝申し上げます。

思い思いに地域で楽しむ
それぞれの夏まつり・納涼祭



2019 7/31 (水)

「ありがとうを忘れない」 健祥会グループ感謝の日

福祉が輝く社会を夢みて、福祉家として国会議員として、現場のニーズに寄り添ったサービスづくりと制度づくりに力を尽くした健祥会グループ創始者・中村博彦。その命日である7月31日は「感謝の日」です。各施設で「感謝」の行事を催し、利用者様には、感謝の日の行事食も召し上がっていただきました。どの施設も、様々な人々の汗と善意に助けられて誕生し、たくさんの人に支えられて今があります。そのことを忘れず、感謝をずっと未来につないでいきたいと思います。



2019 9/1 (日)

徳島県総合防災訓練に参加 「憂いあれば備えあり」の心で

近年、気候は予測不能になってきており、ますます日頃からの備えが重要であることを実感させられます。関東大震災の発災日である9月1日は防災の日。今年も健祥会グループは、南海トラフ巨大地震を想定し阿南市橋町を主会場とした徳島県総合防災訓練に参加しました。

当日朝、健祥会にDCAAT(災害派遣福祉チーム)の派遣依頼があったとの想定のもと、西部・東部・南部および関西の各ステージで先遣隊を編成してすぐさま出動。特別養護老人ホーム緑風会ルネッサンスと福井小学校に集結し、二か所で連携して訓練に臨みました。

緑風会ルネッサンスには福祉避難所を立ち上げるとともに、広域支援センター、および救援物資のストックヤードが設置されました。福祉避難所には一般避難所である福井小学校から災害要配慮者を搬送。ストックヤードにも救援物資が次々と搬入され、物資や人員の過不足の調整、支援体制の構築・実践・連絡の手順が、細かく丁寧にシミュレーションされました。

188機関、900人が取り組み、情報収集のドローンや水陸両用全地形対応車も稼働、初めて航空自衛隊も参加した大規模訓練、飯泉嘉門徳島県知事も緑風会ルネッサンスを訪れ、真剣な面持ちで視察くださいました。

毎年経験を積むことで、対応力が高まっているという手応えを得るとともに、新たな課題も確認できました。地域との連携をさらに強化しながら、「憂いあれば備えあり」の心で、怠りなく備えていきたいと思います。



2019 9/10(火)～

施設の利用者様も
地域の在宅の皆様も揃ってお祝い
合同敬老会



9月16日の敬老の日をはさんで、健祥会グループの合同敬老会が、香川県塩江町を皮切りに、徳島、香川、高知、大阪、京都、東京、全39カ所で開催されました。発祥の地・吉野川市川島町の特別養護老人ホーム水明荘では40回を数えました。
40年前には10人に1人だった65歳以上高齢者が、今は4人に1人。徳島では3人に1人。上勝町では54%を上回っており、驚くべきスピードで高齢化がすすんでいます。
健祥会グループは6000人を超える方に利用いただいております、93名の方が100歳以上。徳島県では、100歳以上の方の8人に1人が当グループの利用者様です。皆様の笑顔に感謝しながら、「元気で長生き」をしっかりお支えしてまいります。



2019 10/31(木)

大盛況！健祥会グループ協賛
「ザ・デイサービス・ショウ2019
It's Only Rock'n Roll」



阿波市交流防災拠点施設アエルワと徳島新聞社が主催し、健祥会グループが創設40周年記念事業の一環として協賛するミュージカルザ・デイサービス・ショウ2019「It's Only Rock'n Roll」が、10月31日アエルワホールで上演されました。中尾ミエさん演じるかつてのスターと、デイサービスにやってくる多彩な高齢者たちが繰り広げるコメディミュージカル、専門学校健祥会学園のイメージソングを歌っている尾藤イサオさんも出演しています。ロックンロール仕立てのパワフルなステージでは、介護の理想と現実の狭間で、何でもない日常があたたかな眼差しでドラマティックに描かれており、満員の会場にたくさんの笑いとしみ

じみとした共感を呼びました。公演に先立ち、中尾ミエさんと共演のかしまし娘・正司花江さんが、川島の吉野川リハビリセンターを訪れ、利用者様と触れ合う時間をつくってくださいました。お集まりの皆様一人ひとりと言葉を交わしながら握手して回ってくださった中尾ミエさん、正司花江さん、ありがとうございました。ミュージカルご出演の皆様、ご来場の皆様、関係各位にも心より御礼申し上げます。

(上) 正司花江さん
(下) 中尾ミエさん





健祥会グループとして
通算10回目の優勝!

第19回 全国社会人ゲートボール大会



2019 8/24(土)・25(日)

第19回 全国社会人ゲートボール大会

熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
(埼玉県熊谷市)

職場でプレーを楽しむ社会人チームが競い合う隔年開催の大会。全国から選ばれた27チーム、健祥会グループからは、健祥会キング、健祥会エンペラー、健祥会リバティ、緑風会の4チームが出場しました。健祥会キングは2大会ぶり、健祥会グループとして通算10回目の優勝。健祥会エンペラー第3位、健祥会リバティはベスト8と、健祥会グループの会技であるゲートボールの伝統の力を全国に示すことができました。

に！ 地域に元気と生きがいを！



2019 10/12(土)

健祥会カップ争奪東四国国体記念 第27回 四国オープン ゲートボール選手権大会

高松市ホテルと文化の里運動場(高松市塩江町)

四国四県から合計45チームが出場。健祥会グループからは、健祥会A、B、Cの3チーム、水明荘レディースと緑風会チームの計5チームが出場しました。

優勝/健祥会Aチーム(徳島県徳島市)
高齢青年チーム賞/壮寿会チーム(平均85.5歳:香川県綾歌郡)
最優秀選手賞/健祥会Aチーム 上野 淳選手



2019 5/11(土)

健祥会カップ争奪 第38回 徳島オープン ゲートボール選手権大会

土成緑の丘スポーツ公園(阿波市土成町)

県内各地から、さらに香川県や愛媛県から合計48チーム・約400名、子どもから高齢者まで、三世代、四世代が参加。健祥会グループからは6チームが出場しました。

優勝/小松島Cチーム(徳島県小松島市)
高齢青年チーム賞/山川チーム(平均84.4歳:吉野川市)
最優秀選手賞/小松島Cチーム 武田 倫己選手

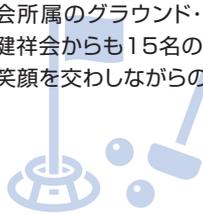


2019 6/1(土)

第15回 健祥会ふれあい大会

JAあいさい緑地(小松島市和田島町)

小松島市グラウンド・ゴルフ協会所属のグラウンド・ゴルフサークル143名の皆様が集って。健祥会からも15名の職員が参加。地域の馴染みの皆様と笑顔を交わしながらの1日でした。

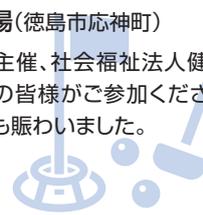


2019 5/12(日)

第15回 健祥会杯 グラウンド・ゴルフ大会

徳島市民吉野川北岸運動広場(徳島市応神町)

徳島県グラウンド・ゴルフ協会主催、社会福祉法人健祥会協賛。総勢87チーム、774名の皆様にご参加くださいました。恒例の介護相談コーナーも賑わいました。



「令和」の時代も、スポーツとともに

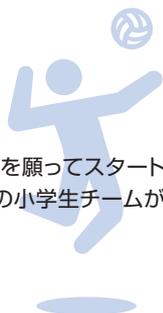


2019 11/3(日)

第16回 健祥会カップ バレーボール大会

健祥会パートナー(徳島市国府町)

子どもたちの健全育成の一助になることを願ってスタートした健祥会カップバレーボール大会。24の小学生チームが集い、フェアプレイで競い合いました。

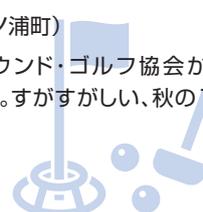


2019 11/11(月)

第14回 健祥会グループ杯 南太平洋グラウンド・ゴルフ大会

明見那賀川河川敷(阿南市羽ノ浦町)

阿南市・海部郡・鷺敷のグラウンド・ゴルフ協会から約400名の愛好家の皆様の参加。すがすがしい、秋の1日を楽しみました。



健祥会グループ フォトコンテスト

KENSHOKAI GROUP PHOTO CONTEST 2019

結果発表!

～テーマ～
こころ



理事長賞

とくしま健祥会保育園
川崎 和代 さん
ゆずちゃん!
どんぐりから
芽が出とつよ!!!



本部長賞



心を込めて「お願い」
健祥会アロバンス 野田 里奈 さん



副本部長賞

心からの眼差し
元気 後藤田 雅樹 さん



これからも一緒に
健祥会リパティ 篠原 美智子 さん

総務部長賞



特別賞

こころをひとつに乾杯

緑風荘 笹田 香織さん



特別審査員賞

私にも届いた年賀状

健祥会たんぽぽ 田鍋 輝夫さん



入賞
24作品



心踊る、
阿波の二拍子
育英認定こども園
西良 駿さん



一番星みつけた♪
育英認定こども園
和田 公太さん



うどんでつながる
笑顔の輪
吉野川リハビリセンター
大黒 将暉さん



つながる心♡
こまつま健祥会認定こども園
中川 彩容子さん



こころは春日和
ジャンボ緑風会
利木 寛さん



五月晴れ、
「心と心」 令和の朝
健祥会エンリケ
米倉 きょうこさん



待ちに待った
秋の味覚
健祥会エジンプラ
住友 敬治さん



だいじょうぶかあ〜!!
おれにつかまれえっ!
青嵐認定こども園
津野 悠華子さん



夫婦の日常
水明荘
西崎 紫津香さん



いざとなったら、
頼むわな!!
マリア・テレジア
近藤 多恵さん



時代
健祥会ハート
田原 大資さん



ごめんねって
言いたくて
こまつま健祥会認定こども園
西川 友貴さん



笑顔の台風
とくしま健祥会保育園
島 和子さん



手と手と心と心
ふるさと那賀
長谷 さゆりさん



日本の
お・も・て・な・し・の・心
とくしま健祥会保育園
大西 菜々さん



スマイルパワー
健祥会シェンブルン
長谷 祐輝さん



水やりって
ほんとお大変!
青嵐認定こども園
安藝 美紀さん



心のこもった贈り物
健祥会ヴィラ
松本 薫さん



心より皆さまの
健康を願って
水明荘
土内 康平さん



うちんくの子じよ、
かわいいだろ?
健祥会ハイジ
峯本 真里さん



ひいばあちゃん
どうぞ
健祥会エンリケ
田中 敬三さん



「わあキレイ!!」
私の心みたい
礼あり優あり
大石 千佳さん



ないしょ…
藤吉郎
林 繭子さん



「私の想い」
健祥会大好き!!
濃姫
瀬山 慎一さん

沖縄離島

ドバイ

宝塚歌劇団観劇

ハワイ

四国八十八カ所巡り

**世界を観よう！仲間と楽しもう！
2018-2020
職員親睦研修旅行**

[国内]
北海道・長崎・沖縄本島、沖縄離島
東京（東京オリンピック、東京ディズニーランド）
大阪・兵庫（エキスポシティ、USJ、吉本新喜劇、宝塚歌劇団観劇）
ホテルでテーブルマナー（ザ・リッツカールトン大阪）
徳島観光地めぐり、四国八十八カ所巡り

[海外]
カナダ、イタリア、ドバイ、ハワイ、韓国、台湾

あなたが輝く場所がある

あなたを待ってる人がいる

職員募集中

笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で
私たちといっしょに働きませんか？

誰かのためになる喜びとやりがいに満ちた福祉の仕事に
チャレンジしてみませんか？
資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します！
福利厚生も充実。徳島県のはぐみ支援企業認証を受けており、
仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

**介護しながら、子育てしながら、勤められます！
正規職員・パート**

勤務地・勤務時間・給与 応談！

募集職種
介護職員・相談員・理学療法士・作業療法士・看護師・
管理栄養士・栄養士・調理員・保育士・保育教諭・訪問介護員 ほか

ご興味のある方は下記または各施設まで
お気軽にお問合せください。

**健祥会グループ本部
TEL.088-642-7522**



明日を想う
健祥会グループ

健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪宇天満356番地1
TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668



社会福祉法人 健祥会

2020
健康経営優良法人
Health and productivity

社会福祉法人 健祥会

はぐみ支援を推進